

令和4（2022）年度第2回 市議会意見交換会 意見の概要及び対応一覧

1 総務常任委員会

テーマ1 「私たちの地域は大丈夫か ～市民の安全とまちづくり～」

(1) 人口減少（担当部：総合企画部）

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・若者が地域にいない。子どもが一旦出てしまうと戻ってこない。地元に住まない。	市当局に検討を求める。	若者の市外流出防止にさらに力を入れて取り組んでいただきたい。
2	・若者が地域にいない事の影響（10年先、15年先の地域）を考えると不安だ。	市当局と情報共有する。	
3	・土地代が安い、生活費が安いなど、柏崎に残るメリットをPRすべきである。	市当局に検討を求める。	都心部との違いを調査し、U・Iターンのパンフレットに記載することなどについて検討いただきたい。

(2) 移住・定住（担当部：総合企画部、都市整備部）

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・なぜ旅に行ったら戻ってこないのか。柏崎に残ってもらうための方策を考えることが必要。	市当局と情報共有する。	
2	・地域の魅力をどう発信していくのか。積極的に発信していくことが大切である。	市当局に検討を求める。	移住促進地域やモデル地域に特化したPRについて検討いただきたい。
3	・大学卒業後に柏崎に残ってもらうために、市営アパートなどの空室をリニューアルし、安く貸し出してはどうか。	市当局と情報共有する。	
4	・国内だけではなく、ベトナム・インド・パキスタンなど国外からの移住者も視野に入れるべき。	市当局に検討を求める。	パンフレット等、多言語での作成やインターネットを活用したPRについて検討いただきたい。

(3) 公共交通 (担当部：総合企画部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	・公共交通（バス）は使わなければ減便され、ますます不便になる。「ちょっと乗ってもらう活動」をしてはどうか。	市当局に検討を求める。	イベント、企画の推進を行い、バス業者と一緒に改善策を検討いただきたい。
2	・地元に住まなくなる理由として、交通アクセス面の不便さがある。 ・車が無いと暮らせない。公共交通が使いづらい。	公共交通機関の利用促進と維持が必要であると考え、市当局と情報共有する。	
3	・乗り合いタクシーの利用者が減少している。使い勝手が悪いのかもしれないが、今後も維持していくためには、もっと乗り合いタクシーを地域で利用することが大切だ。	利用者減少の原因調査と改善策が必要であると考え、市当局と情報共有する。	

(4) 地域活動 (担当部：市民生活部、総合企画部)

	主な意見等	委員会の対応	市所管部等への報告・提言等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の仕事（草刈り）の担い手がおらず、もう守り切れない。 ・町内会役員は団塊世代がメインだったが、60歳を過ぎても現役で働く人が増え、次の担い手がない。 ・町内世帯数の減少で町内事業にも格差が発生している。 ・町内会の再編も必要かもしれない。 	市当局に検討を求める。	人口減少と高齢化による担い手不足により、地域活動の停滞が危惧される。地域の現状を把握した上で、役割分担の見直し、業務の可視化、デジタル技術の活用なども検討し、担い手育成にさらに力を入れて取り組んでいただきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地区における互助体制強化は、地区として取り組む重要課題だが、高齢化と過疎化で人材がない現状。行政と地区で取り組むべき点を検討してほしい。 	市当局に検討を求める。	地域ごとの課題を検討できる体制づくりについて検討いただきたい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内役員の男女共同参画の取り組みをする。リーダー・役員の仕事が減らす。役員の負担が大きいため、バックアップをしてほしい。 	市当局に検討を求める。	地域内役員における男女共同参画の推進にさらに力を入れて取り組んでいただきたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・行政・議会が一体となって、智慧を出そう！まちづくりへ市民参加のやり方を考える必要があるのでは？ 	議会で検討するとともに、市当局に検討を求める。	協働のまちづくりについて、市民が地域懇談会や議会意見交換会などに参加しやすい環境整備に取り組んでいただきたい。